



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市昭和区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

第2回 理事会を開催

愛知県板金工業組合は4月5日(火)、午後3時から理事会を開催した。

2月の総代会後最初の理事会であり新役員39名が出席した。

冒頭、小野寺理事長が挨拶し、新体制への支援の依頼と、東日本大震災の義援金のお礼と協力等述べた。

その後、理事長始め出席者全員が自己紹介し議事に入った。

1 第20期

委員会について

委員会名簿に基づき、理事長より各委員長始め委員の説明があった。尚、各委員長からの方針は今回は省略とした。

2 全板大会について

東日本大震災の影響により開催が懸念されていた第63回全板青森大会について、「青森大会は被災者及び被災地区への復興支援決起大会」と位置付け、予定通り開催される事の報告があった。

また、全国の申し込み状況、県板からの参加人数等の報告と、県板コースの旅程の変更の説明があった。

3 東日本大震災

義援金について

事務局より義援金集計の途中経過と、まだ履行されていない支部への呼び掛け、同時に3階会議室に常設されている義援金箱への追加支援の依頼があった。

4 青年部報告

蟹江青年部長より、

全国建築板金競技大会の結果報告、また青年部が取り組んでいる「赤い彗星プロジェクト」の趣旨、現状報告及び今後の目標、課題等が資料に基づき説明があった。

5 共同購入商品に

ついて

木下製網(株)の友清氏よりスレート屋根踏み抜き落下防止網「エステネット」の開発経緯販売に至ったいきさつ等の説明があり、愛知県板限定での販売の為組合員への採用依頼、また事務局より案内済みのハイブリッド建材の購入依頼も合わせて説明があった。

6 その他

「全板新聞」の6月号より、2県で1ページの記事を担当する事と

なった事が理事長より報告され、愛知県板は7月号の担当になっており、この件は広報委員会が担当する事の確認がされた。

以上で議事を終え、最後に齋藤相談役が挨拶に立ち、「皆で協力し話し合い、新体制をサポートし、組合を盛り上げていってほしい」と述べ、宮下副理事長の閉会の言葉にて午後4時30分散会となった。

松浦



愛知県板金工業組合青年部 第32回通常総会開催

愛知県板金青年部は4月10日(日)に豊田産業文化センターで午後1時30分より通常総会を開催した。西三ブロック担当で37名が出席した。

司会は石川克己氏(西尾)が務め、前田朋浩氏(一宮)の開会の辞の後、蟹江康部長(知多)が挨拶し、議長に竹内一隆氏、書記に佐野哲也氏(共に知多)を選出して議案審議に入った。

議案審議は全て承認され、今年度から部長に就任した西俣友雄氏(豊田)の挨拶があった。

次に表彰が行われ、2月に行われた全国競技大会の選手2名と退任役員



▶ 新部長の西俣友雄氏

代表の蟹江氏に小野寺俊一愛知県板理事長より賞状と記念品が手渡された。続いて来賓出席された小野寺理事長と高橋銀吾西三ブロック長より挨拶を頂いた。

最後に県板取り扱い商品説明会として、蟹江氏よりポケット釘の青年部員特別価格について、田村駒エンジニアリング(株)より樹脂ドウブチについて、木下製網(株)より落下防止ネットについての説明があり、前田氏の閉会の辞で総会は終了した。休憩を挟んだ後、青年



▶ 小野寺理事長より
全国大会出場表彰を
受ける澤野氏

部大討論会「赤い彗星プロジェクト」が行われ、司会を石原英聖氏(岡崎)が担当、コーディネーターに山下政樹氏(知多)、パネリストに小野寺理事長、西俣氏、蟹江氏に加え森田雄次氏、加茂重夫全板青年部副部長を迎えた。

まず蟹江氏よりこのプロジェクト発足の経緯と現時点での状況、目的についての説明があった。その内容は「東京お台場の等身大ガンダムを板金で作れないだろうか?」と言う言葉がきっかけとなり、テレビ局や愛知県経産省や環境省、鉄鋼連盟や中央会を巻き込みながら了解を得てきた。そして問屋やメーカーから



▶ 小野寺理事長より
退任表彰を受ける蟹江氏

も協力を得て資金調達し、モリコロパーク内に18mのガンダムのライバル「赤い彗星シャアザク」を作成しようと言うものである。パネリストの方々が強く言うのが「シャアザクを作ることが最終目的ではない!これをきっかけにファインスチールのPR、良さを多くの人達に知ってもらい、組合組織の活性化。業界の仕事量の拡大を狙う!」と言う事である。

その後の質問時間では「薄板で作れる領域は?」「具体的に何をすれば?」といった質問が出たが、作成についてはまだ模索検討中とのことだった。とても大きなプロジェクトだが組合組織の力で必



▲ 新役員

ず成功させたいと言う熱意が伝わってきた。その後別室にて懇親会が行われ、来賓の宮下善博県板副理事長の挨拶を頂き、山下氏の乾杯の音

頭で宴に入り交流を深めた。途中、新役員の紹介や旧役員挨拶があり、加茂氏の中締めで閉宴となった。

赤池(豊田支部)

名古屋板金連合会 通常総会を開催

4月16日(土)、午後4時より、中区栄の中日パレスに於いて、名古屋板金連合会の平成22年通常総会が開催され42名が出席した。

出され満場一致で承認された。第3号議案「平成23年事業計画案」「平成23年修正予算案」が審議され議事は終了した。



中川・港支部の本田幹雄氏の司会で、物故者への黙祷をし、小野寺会長の挨拶で始まり、昭和支部の松井氏が議長に指名され、議事に入った。第1号議案「平成22年度事業報告と収支決算報告、監査報告」が承認され、第2号議案の「役員改選」では、新連合会長に、千種支部の後藤実氏、副会長は、浅井裕一、谷倉好光両氏、会計に、松野茂氏、会計監査に長山孝氏が選

▶ あいさつする新連合会長の
後藤実氏と新役員
(3頁へつづく)

(2頁よりつづき)

次に新役員が紹介され新連合会長の後藤実氏が挨拶し、前会長の小野寺俊一氏に感謝状が渡された。

次に来賓の愛知県板新理事長小野寺俊一氏、西三連合会副会長鳥居松男氏、訓練協会会長長谷川信俊氏に挨拶をして戴いた。



▲ 乾杯

続いて講演会に入り、講師として、ティーペック(株)の町田晃二氏が「医療格差とセカンドオピニオン」と題して講演され、セカンドオピニオンとは「第二の意見」「第二の診断」と訳され、患者が治療を受けるにあたり、「主治医以外の医師に治療方法などの意見を求めることです。最近では医師自



▲ 原田重夫支部長

ら「セカンドオピニオン」を勧める事が増えてきたそうです。」などと、全員に各資料を渡して説明された。

東三支部 第72回通常総会開催

東三支部は、第72回通常総会を4月24日(日)、豊橋駅前の名豊ビルにて開催した。



▲ 懇親会風景

来賓に愛知県板小野寺俊一理事長、問屋会を代表してマルサン金属建材(株)中西直司社長を迎え、定刻の午後2時に開会した。

癌細胞は1cm〜2cmになるまでに約10年位かかっているそうで、早期発見・早期治療が一番で2番目に病状・症状に最もふさわしい病院・治療施設。

宮下善博氏の司会により、物故者に黙祷し、原田重夫支部長の挨拶の後、議長に大竹孝昌氏が選出され議案審議に入った。

第1号議案から第7号議案まで全議案が無事承認され審議を終えた。

長谷川会長が挨拶に立ち、生徒に向け「板金技能専門学校では、技能を習い資格を取り技術を身に付けて頂く、そのような気持ちで訓練校を運営している」と述べた。

愛知県板技能専門校の第55期修了式並びに入校式が、4月25日(月)午後3時より愛知県職業訓練会館(大研修室)で行われた。

愛知県板技能専門校 第55期修了式並びに入校式

浅井裕一副校長の司会、谷倉好光愛板協会常務理事の開会の辞により始まった。最初に国歌斉唱と、東日本大震災による犠牲者に黙祷をした。



22年度職業訓練生技能コンクール受賞者授与3位愛知県職業能力開発協会会長賞には福井健博、が受賞した。

入校式に移り、ただ一人の新入生、石橋巧也が紹介された。

総会終了後、部屋を移し懇親会が行われ午後6時に散会となった。

から受け継いだ技術を広く発展させ、職業人として日本を支えていただきたい。」古田職業能力開発協会専務理事は、「技能検定試験の合格率は5割弱の結果です。技能の現場に終わりなし、この人の右に出る者なしというプロフェッショナルを目指してください。」西島技能士会連合会理事長は、「3年間の苦労は大変なこと、仕事に励むことは自分の腕に残っていく、自分の仕事職業にこだわって仕事に従事してください。」等々、送る言葉を頂いた。

その後、校長訓辞、答辞を修了生代表小島真人が述べ、修了式を終えた。

章太郎(緑支部)

西三板金連合会 役員会開催

西三板金連合会は4月13日(水)午後7時から岡崎技術工学院にて第1回役員会を開催し、西三板ロック内の8支部から35名が出席した。

西尾支部の鳥居松男氏が司会を担当し、開会の言葉を碧南支部の神谷定幸氏が述べて役員会が開会した。

まず高橋銀吾会長が挨拶を述べ、その中で今年度の三役会のメンバーを次の様に発表した。

相談役 西俣 章 豊田 相談役 久世明男 岡崎 会長 高橋銀吾 碧南 副会長 鳥居松男 西尾



▶高橋会長

年の総会会場について担当の碧南支部から提案があり協議された。次に高橋会長より事業計画案として、安全講習会や救命講習会の開催、西三青年部の活性化が提案された。また西三板ロックが担当する来年の県板新年懇親会の会場と会費についても協議された。

- 書記 神谷定幸 碧南
同補佐 岩崎 崇 安城
会計 田中義久 豊田
同補佐 酒井 佐 刈谷
監査 岩瀬正明 幡豆
監査 宇野勝義 岡崎
県板常務理事

そして出席者全員が当連合会、県板委員会、各支部での役職を発表しながら自己紹介を行った。続いて議事に入り、今



▶全員で安全スローガンを唱和

の説明も行われた。前会長の久世明男相談役の挨拶を頂戴し、最後に西三連合会の安全スローガン「朝一番小さな確認 事故防ぐ」を全員で唱和し、豊田支部の田中義久氏の閉会の言葉で役員会は終了した。

赤池(豊田支部)

4月度の動き

【県板】

- 5日(火) 三役会 於 県板3階
- 5日(火) 理事会 於 県板3階
- 7日(木) I T 部会 於 県板3階
- 11日(月) 中板協総会 於 富山電気ビル
- 21日(木) 出席 関係者 中央会理事会 於 キャッスルプラザ
- 25日(月) 出席 武田 訓練校入校式 於 県訓練会館
- 27日(水) 出席 理事長・武田 広報委員会 於 県板3階
- 28日(木) 総務委員会 於 県板3階

【各支部】

- 名古屋板金連合会 16日 通常総会 42名
- 西支部 23日 定例会 7名
- 瑞穂支部 1日 定例会 21名
- 熱田・南支部 21日 定例会 8名
- 中川・港支部 28日 定例会
- 22年度決算報告
- 23年度予算案
- 役員改選 他

- 一宮支部 13日 役員会 11名
- 瀬戸支部 5日 定例会 6名
- 津島支部 5日 定例会 7名
- 江南支部 15日 支部会 10名
- 西三板金連合会 13日 第1回役員会 35名
- ・総会の日時、会場について
- ・今年度の事業について
- ・県板新年懇親会の会場について

- 岡崎支部 9日 新旧役員引継会 21名
- 20日 三役会 5名
- ・名簿の変更、レクリエーションについて
- 25日 青年部 O B S ミーティング 9名
- ・新規メンバーの勧誘、他
- 碧南支部 11日 三役会 3名
- ・理事会報告、他
- 豊田支部 9日 第1回役員班長会 20名
- ・県板等各種報告

- 東三支部 11日 会計監査 7名
- 12日 三役会 7名
- 21日 三役会 8名
- 24日 第72回通常総会
- 県板青年部 4日 幹事会
- 10日 通常総会

編集後記

3月11日、東日本大震災により、三陸海岸に予想を上回る30m以上の津波が襲い人と住宅、そして町と社会までも奪ってしまつた。

今日も、ニュースの初めは震災である。また、震度4〜5弱と毎日テレビに『ポロンポロン』と発表される。

「天災は忘れた頃にやってくる」と言われるが、今回は、福島第一原子力発電所の破壊による放射能に汚染された水と大気が、国内外の大惨事となつてしまつた。

終息は、いつになるのか東京電力の対応が歯がゆい。

一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

鈴木

四月二十七日(水) 雨
四七〇号 編集会議
広報委員 七名
理事長出席
午後二時半開会
五時閉会